

市議会だより



「遊亀」 絵画 西野 忠義 さん(栄町)

平成31年 1月緊急議会・3月定例会議会

あんない

1月緊急議会	P2
3月定例会議会	P2~P4
議会改革推進協議会の取り組み	P5
討論(議案等に対する意見)	P6~P9
一般質問(個人16名)	P10~P18
広報広聴特別委員会報告	P19
議会だより表紙のご応募へのお礼	P20

表紙写真・絵画募集中!

次回の締切は6月17日(月)です。

編集 広報広聴特別委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)

3月定例月議会議案等の審議結果

報告及び全会一致で可決した議案等

議案等番号	件名
議案 5	平成31年度豊明市下水道事業特別会計予算
議案 6	平成31年度豊明市土地取得特別会計予算
議案 7	平成31年度豊明市墓園事業特別会計予算
議案 8	平成31年度豊明市農村集落家庭排水施設特別会計予算
議案 9	平成31年度豊明市有料駐車場事業特別会計予算
議案 1 2	平成31年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計予算
議案 1 3	公平委員会の委員の選任
議案 1 4	固定資産評価審査委員会の委員の選任
議案 1 5	市道の路線廃止
議案 1 6	市道の路線認定
議案 1 7	豊明市不正競争防止法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
議案 2 0	豊明市立視聴覚ライブラリー条例の廃止
議案 2 2	豊明市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
議案 2 3	豊明市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
議案 2 4	豊明市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議案 2 5	豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
議案 2 7	豊明市介護保険条例の一部改正
議案 2 9	愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更
議案 3 0	平成30年度豊明市一般会計補正予算（第8号）
議案 3 2	平成30年度豊明市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案 3 3	平成30年度豊明市農村集落家庭排水施設特別会計補正予算（第2号）
議案 3 4	平成30年度豊明市有料駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
議案 3 6	平成30年度豊明市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案 3 7	平成30年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計補正予算（第2号）
議案 3 8	財産の買入れ（空調機）
議案 4 0	豊明市非常勤一般職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正
議案 4 1	平成31年度豊明市一般会計補正予算（第1号）
議案 4 2	平成30年度豊明市一般会計補正予算（第10号）
議案 4 3	工事請負契約の変更（キュービクル更新等工事）
	議案第21号 豊明市非常勤一般職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正についての撤回の件
報告 1	専決処分事項の報告（損害賠償の額の専決処分）
議員提出議案 1	豊明市議会基本条例の全部改正
選挙 1	選挙管理委員の選挙
選挙 2	選挙管理委員の補充員の選挙
意見書案 1	農協改革に関する意見書
請願 1	農協改革に関する意見書の提出を求める請願

1月緊急議会

1月28日に1月緊急議会を開催し、議案2件を審議しました。

3月定例月議会

3月定例月議会は、2月22日から3月19日までの26日間にわたり開催し、議案40件、議員提出議案1件、意見書案1件、請願1件などを審議しました。

人事案件

（敬称略）

◎選挙管理委員と補充員の選挙

任期満了（3月7日）に伴い、議会で選挙した結果、次の方々が当選されました。

（任期は4年）

選挙管理委員

大矢 克己

（新田町）

近藤 安親

（新栄町）

青木 京子

（栄町）

朝倉 信也

（間米町）

選挙管理委員の補充員

井口 昭雄

（西川町）

関谷 百合子

（栄町）

谷本 直子

（前後町）

石川 裕子

（間米町）

◎公平委員会の委員の選任

任期満了（3月31日）

に伴い、次の方の再任に同意しました。

佐野 和子

（任期は4年）

（二村台）

栗谷 達也

（任期は3年）

（日進市）

◎固定資産評価審査委員会の委員の選任

時高厚子委員の任期満了（3月23日）に伴い、後任に次の方を選任することに同意しました。

（任期は4年）

（任期は3年）

（任期は3年）

（任期は3年）

（任期は3年）

請願

る。そもそも、JAは組合員の民主的な協同組織である。JAのあり方を決めるのは国ではなく、組合員が決定するものであるという協同組合の基本原則に沿った対応が望まれる。

◎農協改革に関する意見書の提出を求める請願

平成31年3月19日

採択

採択

意見書（一部省略）

3月定例月議会最終日の3月19日に意見書案1件について審議し、可決しました。

◎農協改革に関する意見書

JAグループは、現在、農家所得の向上を最重要目標として、JAの総合事業性を活用した自己改革に取り組んでいるところであるが、今後進められる①信用事業の分離誘導や、②准組合員利用規制の導入などの内容によっては、JAの機能発揮が十分に行えなくなり、農業振興や地域振興に支障をきたすことが懸念さ

意見書提出先
内閣総理大臣他2大臣、
衆参議院議長

～市民に信頼され開かれた議会を目指して～ 議会改革推進協議会4年間の取り組み

（期間：平成27年6月～平成31年3月）

- 全議員で議論を重ねてきた4年間の取り組みをご報告します。
- 【主な成果】**
- ◆委員会傍聴人数枠拡大
 - ◆委員間討議を申し合わせに明記し、実際に運用
 - ◆政務活動費を会派支給から個人支給に変更。収支報告書等をインターネットで公開
 - ◆反問権の回数制限撤廃
 - ◆代表質問と個人質問を兼ねることを可能とした
 - ◆請願者や陳情者の趣旨説明を公式記録に残す
 - ◆本会議や委員会でのパソコン・タブレットの持ち込みを可とした
 - ◆災害時の議会としての行動基準を確認・明記
 - ◆全員協議会を原則公開
 - ◆事務局から議員への通知を郵送から電子化に
- 【今後の課題】**
- ◆会議システム導入検討
 - ◆政治倫理要綱の条例化の検討など



豊明市議会基本条例 全部改正

豊明市議会は平成23年に制定した議会基本条例に基づき議会活動を展開してきましたが、地方分権の進展スピードは速く、議会の責任、役割の重要性が増してきていることから、平成27年6月、開かれた議会を目指し議会改革推進協議会（推進協）を設置、平成28年8月、議会基本条例の見直しに向けた分科会を設置しました。

紆余曲折を経て全会一致

議会基本条例は議会の最高規範であることから全会一致を目指し、分科会及び推進協において約2年6カ月間の協議を重ね、紆余曲折を経ながら平成30年12月17日全会一致で確認しました。

その後、パブリックコメントを実施し、平成31年3月定例会月議会へ上程

可決しました。

以下、新たな議会基本条例の主な改正内容をご報告します。

最高規範

新たな議会基本条例は議会の最高規範と位置づけました。

市民との意見交換会

「市民との意見交換会」を新設。これからは、議会と地域、諸団体とが自由に意見交換する市民との意見交換会を開催していきます。

災害時の議会対応

大規模災害などの非常時においても、迅速な意思決定と多様なニーズを反映するよう議会機能を維持しなければならぬことを条文化しました。

重要な計画は議会へ説明

議会にも市民の負託に応え、最良の意思決定を導くことが課せられていることから、総合計画や都市計画マスタープランなど議会が重要と判断した計画は市長などへ説明

を求めることができることを条文化しました。

文書質問

休会中に市長などへ文書で質問できるよう条文化しました。

委員会機能の充実と議員間討議による意見集約

これからは、所管する様々な政策課題に迅速に対応し、適切な政策提言を行うため所管事務調査を積極的に活用し、委員会機能の充実に努めることとしました。また、議員相互の自由討議を活性化させ、そこで得た結果を市政へ反映させることを条文化しました。

議会改革は継続的に取り組む、見直しの時期も明文化

引き続き議会改革に取り組むことを条文化しました。また、この条例の目的が達成されているかどうかを任期の中間年に全議員で見直すことを条文化しました。

全会一致でない議案等の賛否

○：賛成 ×：反対

議案等番号	議案名	新風とよあけ			ひまわり			清澄		公明党市議団	市政改革の会	新緑会		杉浦光男							
		富永秀一	後藤学	宮本英彦	ふじえ真理子	近藤善人	鶴飼貞雄	毛受明宏	近藤郁子	三浦桂司	清水義昭	近藤ひろひで	村山金敏		近藤千鶴	一色美智子	早川直彦	山盛さちえ	蟹井智行	月岡修一	郷右近修
議案 3	平成31年度豊明市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案 4	平成31年度豊明市国民健康保険特別会計予算	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
議案 10	平成31年度豊明市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案 11	平成31年度豊明市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案 18	豊明市地域公共交通会議設置条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
修正議案 1	議案第18号 豊明市地域公共交通会議設置条例に対する修正案	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
議案 19	豊明市森林環境譲与税基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案 26	豊明市国民健康保険税条例の一部改正	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
議案 28	豊明市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案 31	平成30年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案 35	平成30年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案 39	平成30年度豊明市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

平成31年度 予算特別委員会

予算特別委員会は3月11・12日の2日間開催し、議長を除いた議員全員で平成31年度一般会計予算及び特別会計予算を審査しました。

質疑に対する主な答弁は次のとおりです。

- デマンド型乗合交通「チョイソコとよあけ」の実証実験では市役所・図書館・体育館・文化会館の4カ所を公共施設停留所とする。
- 窓口改善改修工事業は市役所来庁者へのサービス向上のため、案内サインの充実、各種証明書発行の専用窓口新設、債権管理課の専用相談スペースを設ける。
- 新規野菜産地ブランド化事業は、新規野菜「カリフローレ」を花マルシェとセットにして豊明のブランド化を図っていく。
- 市観光協会補助金は、

今年は何かに桜を見ていた。たこうと新たな企画を検討する。

- 道路管理事業5222万4000円は、県道名古屋岡崎線の側道が市道となるため買収する。
- 消防団消防ポンプ車購入費は、平成12年に購入した第6分団の車両を更新する。
- ブロック塀等撤去事業費補助金は、40件分を計上し、自主防災組織連合会へチラシの配布、その他に区長会や自治会にもお願いする。ブロック塀撤去補助金制度の周知に努める。
- 勅使グラウンド全面改修事業の工事内容は、キュービクル取りかえとバツクネット改修、グラウンドの水はけをよくする全面改修、防球ネットのかさ上げ、トイレ改修。

以上審査し、採決の結果、全ての議案を原案のとおり可決すべきものと決しました。



議案等に対する

討 論

（3月定例月議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。）

◆新風とよあけ◆

豊明市議会基本条例全部改正及び平成31年度豊明市予算に賛成

▼豊明市議会は開かれた議会を目指し議会基本条例を全面改正しました。議会基本条例は議会の最高規範と位置付け、多くの新たな取組みを条文化しており、特に地域や諸団体と議会が自由に意見交換する「市民との意見交換会」を新設しています。新たな議会基本条例は豊明市議会が新たなスタートラインに立っただけであり、選挙後の議会において、この議会基本条例を動かす組織の新設が必要であります。より一層市民の負託に応え、活力ある議会活動を実践することを決意し賛成しました。

▼31年度予算、乗合交通運行事業、ひまわりバス
コース変更、チョイソコとよあけの導入で、便利になったとの声がある反面、不便になったとの声もある。さらなる改善を要望する。教育費については、小・中学校へのエアコン導入、小学校のトイレ全面改修、スクールソーシャルワーカー・教員補助員などの増員により教育環境の充実が進み、いじめ不登校がなくなり、全ての児童生徒が笑顔で学校生活が送れるようになることを期待します。予算執行に当たっては、『最小の経費で最大の効果』という原点に立って、職員一人ひとりが財政健全化に関する強い意志を持って職務に邁進することを要望して賛成とします。

◆ひまわり◆

議案第3号から第12号の平成31年度予算、議案第26号国民健康保険条例改正に賛成

新年度当初予算は、一般会計200億円、特別会計140億円、合計340億円が示されました。豊明市は近隣と違って、市税は103億円のうち個人・法人市民税の合計が49億円などに対して、法人市民税が5億円しかないのが特徴で、42億9千万円弱の固定資産税に頼る予算編成となっております。

とを期待します。
保育園トイレと小学校トイレ改修工事は、洋式トイレが普及している現状で、園児や児童が快適に利用できる事業として高く評価しています。
勅使グラウンド全面改修工事は、利用者からグラウンドの不良やトイレの使いづらさの声を聞いていましたが、改修により快適に使えるようになることを評価します。
国民健康保険税の課税限度額の引き上げについては、国基準より低く抑えると、所得がある層の保険税額が抑制されて、中間所得層以下の負担を増大させることになるので、国基準に合わせていくことに妥当性があり評価します。

◆清澄◆

平成31年度豊明市一般会計および各特別会計の予算案に賛成

平成31年度の一般会計予算総額は約200億円で、過去最大となった。その要因は、国の負担で行う事業が多く、その多くは保育所、認定こども園の整備が対象である。特別会計においては、

予算総額約140億円と、昨年度比約2億7千万円の増額で、要因は、公共下水道と農業家庭排水との接続や、介護保険の給付増によるものである。

地域公共交通関係については、路線、ダイヤの改定や民間のサービスを正式に取り入れることとなる。今後、市南西部の人口密集地域においても更なる利便性の向上を図る努力をお願いする。

地域一括交付金については、算定基準の見直し

がなされたが、更なる基準の変更にも着手することなので、算定根拠の明確化をお願いする。待機児童解消の課題については、2020年度開所に向けた予算が多く盛り込まれた。通年にわたり待機児童ゼロを目指していたことを要望する。

新生児聴覚検査への助成については、子育て世代の経済負担が緩和されるだけでなく、異常の早期発見が大きな効果をもたらすため、本事業には大いに期待する。
桶狭間の合戦の関連で、今川義元生誕500年記念講演を行うとのことであるが、本市の観光PRに大きな効果をもたらされるであろうと期待する。

◆公明党市議団◆

平成31年度一般会計予算・特別会計予算について賛成

私たち公明党市議団は、平成31年度当初予算の編成に当たり、防災・減災対策や市民福祉の充実、安心安全なまちづくりをもとに予算要望しました。

この度の当初予算は過去最大規模の予算ですが、国の政策による事業、また県費、団体助成金等の特定財源を活用しての事業が多く、一般財源を減少させての市民サービスの拡大は評価いたします。

窓口改善改修工事については、債権管理課においては安心して相談できる環境をつくっていただけるようお願いいたします。なお、工事中は来庁者の方の安全には十分気を付けて行ってください。

待機児童対策として、国庫補助金を活用し認可

保育所及び認定こども園の施設整備に係る費用の一部を補助するものです。保育の質の確保が保たれるようお願いいたします。
教育費については、スクールサポートスタッフを配置するなどソフト面での多様な問題の解決体制づくりを大いに評価いたします。ハード面では、小学校のトイレ改修、エアコン設置工事は、安全第一で工事を行ってください。

市民の安心安全を守り、市民福祉の充実と活気のあるまちづくりになるよう、本予算の執行をお願いいたします。
請願第1号農協改革に関する意見書の提出を求める請願に賛成討論をしました。

◆ 市政改革の会 ◆

「未来への幕開け予算」に不安はあるが、教育・子育ての拡充を評価し賛成国に盲従する国保税引き上げに反対

◆ 新年度予算について

予算はまちの設計図であり、施政方針や事業の優先順位は予算編成の取扱説明書と言える。

施政方針に「大きく輝く未来への幕開けの年」とあるが、財政面ではその場対応の運営が浮き彫りになり、行革による財源確保策は見えず、将来の財政運営への不安と多くの課題を感じる。

改選後、公共施設床面積3割削減の具体案と将来の財政計画が明らかにされ、幕が開いた向こうに、どんな未来が待っているのか希望が見えない。

市長選が無投票となれば、審判を受けていない当選となる。より丁寧な市民との意見交換を心がけるよう要望する。

◆ 国保税の改正について

国は国保会計の独立採算、税引き上げによる赤字解消を誘導している。

市はそれを受け、一般会計からの補てん分を毎年約4千万円削減し、10年後にゼロにする計画を立て、税引き上げを連続して実施を提案している。

新年度の国保予算は、県への納付金が前年度比7千万円減、一般会計からの赤字補てんも約5千万円減額されている。

さらに、平成29年度の繰越金があり、1億5千万円基金に積み増した。

保険税引き上げによる増収見込み額1千6百万円を差し引いても、計画は達成されている。低所得者層の暮らしを圧迫する改正に反対する。

◆ 新緑会 ◆

平成31年度豊明市一般会計予算、平成30年度豊明市一般会計補正予算に賛成

◆ 市長は、施政方針の中で、

「教育費は、義務教育における主役である児童生徒一人ひとりに目を向け、一人の取りこぼしもしないという強い決意のもと事業を進めてまいります」と述べられています。行政のトップが、「一人の取りこぼしもしない」と言ってくださることぐらい、教育関係者にとって、心強いことはありませぬ。新たな試みとして、スクールサポートスタッフが2人配置されます。この方々の活動内容には、注目していきたいと思えます。先生方の働き方改革に効果があることが証明されれば、ぜひ全校に広げてもらうよう、提案をしたいと思えます。

◆ たばこ税の1700万

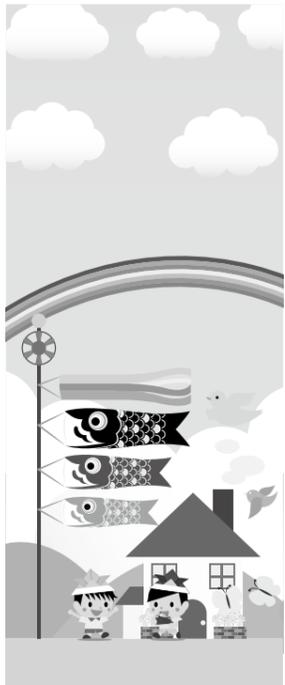
円の収入減は昨今の市民の健康志向や喫煙場所の減少等から禁煙をする市民がかなりの率で増えていることを表していると思えます。これは市民全体の健康への影響面で勘案すれば、たばこ税が減収した分、健康な市民が増えて、医療費の減額へと繋がれば正に理想的な税金の活用に繋がるものと期待をします。公共施設建設及び整備基金積立金の9988万円の増はいずれも将来に対する積立金です。豊明市も、いつ大きな災害に遭遇するかもしれないと思えます。そのような将来を意識した職員の皆さんの判断と日頃の努力に対して感謝の意を表し賛成いたします。

◆ 日本共産党 ◆

議案第3号平成31年度豊明市一般会計予算に反対、請願第1号農協改革に関する意見書の提出を求める請願に賛成

平成31年度は働く人たちの実質賃金が低下するなかで、国が10月から消費税の税率を10パーセントに引き上げようとしている。地方自治体がこの税負担増の押し付けから住民をどう守るかが問われている。予算では、ケースワーカー一人あたりが抱える生活保護の利用者数は31年度も80人から90人と改善が見られない。民営化した事業は職員の給与が引き上げられたが

確認ができない。開通した桜ヶ丘沓掛線のトンネル上部に緑地を整備する事業は住民が求めていると考える。本当に必要なのか。学校のエアコン設置、トイレ改修などの前進面があるが、平成31年度一般会計予算に反対。家族農業を支えてきたのが農協。信用事業の譲渡や准組合員利用規制ではそれができなくなるので請願に賛成。



議会の開催日程(予定)

5月開会議会

5月15日(水) 開会議会

6月定例月議会

6月 4日(火) 本会議(議案上程・提案説明)

6月17日(月) 本会議(議案質疑・委員会付託)

6月 6日(木) 本会議(一般質問)

6月18日(火) 総務委員会

6月 7日(金) 本会議(一般質問)

6月19日(水) 健康福祉委員会

6月10日(月) 本会議(一般質問)

6月20日(木) 建設文教委員会

6月13日(木) 本会議(一般質問)

6月27日(木) 本会議(委員長報告・討論・採決)

※ 本会議・委員会とも午前10時より開かれます。

上記は予定のため、変更される場合がありますので、ご了承ください。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0562-92-1121

今回の議会だよりの発行は
6月1日です。

表紙写真・絵画・イラスト募集!

とよあけ市議会だよりの表紙を飾る写真・絵画・イラストを募集しています。

宛 先：〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1
豊明市議会事務局 議会だよりの表紙作品募集係
メール：gikai@city.toyoake.lg.jp
※詳しくは豊明市議会のホームページをご覧ください。
次々回8月1日号の募集締切は6月17日(月)です。



一般質問



行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について16名の議員が質問に立ちました。その内容については次のとおりです。（文責は各議員にあります。）

一般質問

☆投票率向上の取り組みについて再度問う
☆空き家対策の進ちょく状況について
☆“地域に根ざした”子どもの居場所づくりを



ふじえ 真理子 議員

問 選挙公報は新聞折込方式の配布を再提案する。
答 経費的にはメリットがあるため検討していく。

問 選挙事務従事者に高校生採用の検討結果は。
答 急な欠席者の補充が難しいと考える。若者の政治参加については他市の状況を研究していく。

問 南部地域の利便性と若者への啓発に、桜花学園大学内に期日前投票所の設置を提案する。学園側と交渉してみる考えは。
答 二重投票の防止が課題。研究していきたい。

問 H28年度実施の実態把握調査で現地未確認かつアンケート未回収275の物件について、その後調査はしているか。
答 傾向を知るため、継続調査はしていない。

問 実態を知ってこそ対策が打てる。空き家把握を業者委託でなく、地域をよく知る区町内会や老人クラブ等に委託しては。
答 区町内会からの情報提供をお願いはしているが、業務として報告いただくことは考えていない。

問 予防・利活用の点から、空き家バンクやマイホーム借り上げ制度等の情報を郵送などで積極的にお知らせしては。
答 まずは危険な住宅への対応が第一。並行して予防・利活用の啓発活動をより強力に進めていく。

問 小学校区より身近な、地域での子どもの居場所づくり（異世代交流）は、将来の自治の観点からも非常に大切。市の考えは。
答 放課後子ども教室等、まずは各小学校区の拠点整備から。より身近な地域の居場所づくりも大変重要。先進例を参考に研究していきたい。

一般質問

「子どもの貧困」について
「統合型校務支援システムの成果と課題」について



蟹井 智行 議員

一般質問

市長マニフェストの検証について問う
唐竹小学校跡施設活用基本方針について問う



早川 直彦 議員

問 厚生労働省の国民生活基礎調査によると、子どもの相対的貧困率は、平成24年には過去最悪の16.3%となりました。これは、およそ6人に1人が貧困であることを示すこととなります。豊明市は、子どもの貧困の実態について、どのように把握しているのでしょうか。豊明市の現状分析をお聞かせいただきたいと思います。

答 本市においては、30年度「豊明市に住む子どもに関する調査」として、18歳以下の子どもがいる生活保護世帯、準要保護世帯、ひとり親世帯などを対象とした実態調査を行います。

問 市長マニフェストを確実に実行するためのシステムづくりが必要ではないか？
答 システムは必要ないと考える。指摘のように作るとマニフェストだけをやらねばならないというように、職員が勘違いしたり、委縮したりする恐れがある。4年前のマニフェストに固執するという行政はナンセンスと考える。

問 日進市の市長は、第1期、第2期、第3期の中間報告をして、実施したものと、今後進めるものを示している。公表するつもりはないのか？
答 政治家として後援会報を含めマニフェストの項目についてどうなっているか説明していないが、それには理由があり、市民の方々からこの4年間、マニフェストがどういうように進捗しているのか聞かれたことが一度もない。市民の方々はマニフェストに固執していない。

問 唐竹小学校跡施設活用基本方針について
答 利用面や管理運営面について、関係者や市民、団体などとともに、設計に向けた協議をしていくとあるが、どのように実施、決定するのか？
答 設計に向けた協議を新年度以降に実施し、関係者との協議の方法、内容、対象は、関連部署を中心に進めていく部分も出てくると考える。現在、庁内で検討中で、決まり次第内容に沿って進める。

問 市民から出された意見は今後どのように反映していくのか？
答 基本方針は、意見交換会や各団体との協議の中で意見や要望を踏まえ作成した。利用面や管理運営面の詳細が決定した段階で、ホームページなどを通じ意見を求め、有益な提案は今までと同様に反映させ、市民に親しまれる施設にしていく。



日本の相対的貧困率の推移

問 入試の時に高校へ送る資料、たとえば調査書、推薦書などは、私立の高校では学校ごとに違い、たくさん種類があります。また、合格した高校へ送る資料がありますが、公立と私立では送る資料が異なります。栗太郎システムはこれら全部に対応できていますが、現状の統合型校務支援システムはこれができるせん。この点をどう考えますか。
答 業務の運用見直しでシステム側に合わせることも適当なのか、システムの機能として搭載することが適当なのかを精査し、必要な機能は、校務支援システムのレベルアップを導入業者に対し要望をしていきたいと思えます。

問 「統合型校務支援システムの成果と課題」について
答 3月末にまとまります。行いました。調査結果は3月末にまとまります。

一般質問

がん検診は、国立がん研究センターの手順を守れ 審議会等に多様な市民の参加を 学区外通学は生徒の事情を考慮して

後藤 学 議員



- 問** 胃がんでは7医療機関、肺がんでは4医療機関が国立がん研究センターの手順をクリアできていない。市民が医療機関を選択する重要な判断基準となるが、そのことを市民に周知し、一部負担金に差をつけているか。
- 答** 市民に公表するとかそういうものではない。
- 問** たいへんおかしなことで、学会認定医の資格も確認していないという。市民には運転免許証とかで確認するのに、医者（委託業者）は確認しないでいいのかわからないか。
- 答** (市長) 何の質問か全くわからない。
- 問** 審議会等に多様な市民の参加を
- 問** 豊明市は、要綱で広く各界、各層から適切な人材を選任するとしている。女性委員の目標を50%、委員の年齢制限を80歳以下とか、改めるべきではないか。
- 問** 学区外通学は生徒の事情を考慮して
- 答** どういう方がよいか考えて決めていきたい。
- 問** その場合、学識者、校長、PTA、地域の人等を入れて検討できないか。
- 答** 検討していきたい。
- 問** 市内転居に伴う転校には大きな問題。他市では、前の学校への通学を認めるところもある。基準の「その他」で検討できないか。
- 答** 検討していきたい。
- 問** 女性委員の目標値を半数に近づける必要があり、上限70歳の見直しも今後の検討課題と考える。
- 答** バランスも大切なので検討する。
- 問** 若い世代も50歳未満が17%しかない。
- 答** 女性委員の目標値を半数に近づける必要があり、上限70歳の見直しも今後の検討課題と考える。



一般質問

これからの二級河川維持管理の考え方 市の防災協定と新しい取り組み 子どものそばで働ける新しいワーキングスタイル

毛受 明宏 議員



- 問** これからの二級河川維持管理の考え方
- 答** 崩壊中の護岸は県が現地の確認と調査を行ったが、護岸形式や施工方法の検討の必要があった。市としては復旧工事の時期を要望・相談していく。
- 問** 市の防災協定と新しい取り組み
- 答** 災害発生時の重資機材確保については、野町にある建設資機材リース会社と災害時における重機資機材やテントや仮設トイレなどを提供していたと協定を締結している。
- 問** 固定電話や携帯電話だと災害発生時、回線が混乱し、情報伝達が不可能になることも予想される。調査研究し、まずは市の防災訓練等でアマチュア無線の有効性を検証していきたい。
- 問** 子どものそばで働けるワーキングスタイル
- 答** 民間企業の展開で、「お母さんが子どものそばで働ける、保育園でもない在宅でもない新しいワーキングスタイル」が全国拡大しているが、当市においての考えは、
- 問** 民間企業の展開で、「お母さんが子どものそばで働ける、保育園でもない在宅でもない新しいワーキングスタイル」が全国拡大しているが、当市においての考えは、
- 答** 国も多様で柔軟な働き方を推進する中、母親が子どものそばで働ける職場環境は子育て世代の女性活躍の大きな後押しになると考え、今後調査研究をしていきたい。
- 問** 市民にとって大変大きな力になる。
- 問** 災害発生時、情報収集にアマチュア無線の導入利用は。
- 答** 固定電話や携帯電話だと災害発生時、回線が混乱し、情報伝達が不可能になることも予想される。調査研究し、まずは市の防災訓練等でアマチュア無線の有効性を検証していきたい。



崩壊した二級河川護岸。崩壊したコンクリート護岸も同じような経年劣化による箇所が確認される

一般質問

桜ヶ丘沓掛線・街路樹について 桜幼児教育無償化について 教育環境について

近藤 善人 議員



- 問** 桜ヶ丘沓掛線及び市内街路樹について
- 答** 近隣から苦情があまりないものについては、強剪定ではなく「透かし剪定」にしている。
- 問** 電線の地中化についての考えは。
- 答** 地下には様々な占有物があり、歩道もせまいので現段階では難しい。
- 問** 幼児教育・保育の無償化について
- 問** 幼児教育無償化の概要について
- 答** 3歳以上の幼児教育、保育は基本的には無償化になる。3歳未満児については、非課税世帯のみ無償化になる。
- 問** 無償化による影響は、無償化になることで、特に需要が多くなることはないかと推測している。
- 問** 教育環境について
- 問** 現時点での本市の不登校児童・生徒は何名か。
- 答** 下表↓
- | | 小学 | 中学 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|
| 30年度 | 15名 | 57名 | 72名 |
| 29年度 | 14名 | 60名 | 74名 |
| 28年度 | 13名 | 57名 | 70名 |
- 不登校児童・生徒数
- 問** この数字に対しての教育長の認識は。
- 答** 非常に多いという認識は持っている。
- 問** 不登校傾向の生徒は把握しているか。
- 答** おおよそ30名程度と考えている。
- 問** スマホのルールづくりについて
- 答** 昨年7月に「携帯・スマホ非常事態宣言」の文章を保護者に発信した。この成果を参考に次のステップを考えている。
- 問** 校内での「適応指導教室」設置の考えは。
- 答** 北部・南部の支援センターで適応指導教室を実施している。すでに設置する予定はないが、研究していきたいと考えている。

一般質問

風疹対策について 地域共生社会の実現について

一色 美智子 議員



- 問** 風疹の感染拡大防止に向け、厚労省は39歳から56歳の男性の抗体検査と予防接種を今春から3年間原則無料化します。妊娠を望む女性や妊婦と同居する家族は、特に抗体検査やワクチン接種を急いでほしいと思っております。
- 答** 平成31年度は昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性が対象。それ以外の47歳から56歳の方は希望があれば個別に受診券の発行を予定。医療機関以外にも、職場の健診、特定健診の機会を活用して受けられます。
- 問** 地域共生社会の実現について
- 問** 認知症施策の推進について
- 答** 認知症の方を孤立させない施策を案内する「本人にとってのよりよい暮らしガイド」。認知症と診断された方が自分らしく生きていくための冊子と暮らすためのこの冊子の活用について、また認知症の方向士が集まり自身の体験や希望を語り合い、地域づくりに生かしていく「本人ミートイキング」の普及について伺う。
- 問** 次年度以降取り入れていく。
- 問** ヘルプマーク・ヘルプカードの利便性について伺う。
- 答** ヘルプマークも今後申請書を不要にして、ヘルプマークと一緒に発行をしていきます。
- 問** LGBT施策の推進について
- 答** 中学生にも当事者がいる可能性はあります。性別に関係なく体操服の色の統一化、また制服を選べる中学校も現れ始めましたが、本市ではどのように考えるか伺う。
- 答** 色の統一は今後検討していく。制服についても今後方向性を出していきたい。

一般質問

予算の優先順位にビジョン見えず 将来の財政運営に数値目標なし

山盛 さちえ 議員



市政改革を願う小浮市長の4年間を振り返る

問 事業の優先順位を明文化したものはあるか？

答 ない。

問 見える化しては？

答 当たり前のことを当たり前にやっているだけで必要は感じていないが、職員も迷わないし、議員との議論も円滑に進むので明文化したい。

問 批判を受け入れる覚悟、現状を否定し変革する勇氣はあるか？

答 冷静に批判を受ける覚悟が私には足りない、もっと成長が必要。

問 情報提供は市民と議会が違つてはいけないし、十分な説明が必要では？

答 予算編成に市民が意見を言う機会を設けては？

答 誤解を避けるため、内部意思決定後に議会や市民に説明する。

答 予算については一部の市民参加では不公平なので行わない。

将来の財政運営と施政方針について

問 市民サービスを後退させない財政規模はどのくらいか？

答 額は想定していない。必要な事業を積み上げた結果が予算となる。

問 施政方針にあった新規政策の規模と財源は？

答 国が実施するプレミアム商品券や幼保無償化などで財源は基金。

問 今年予定のアセットマネジメントは議論したか？これで持続可能な取り組みと言えるのか？

答 議論していない。新年度以降、議論したい。

問 基金（預金）目標額、市債（借金）上限額は？

答 基金目標も市債上限額も定める考えはない。

問 維持可能な運営をするための具体的な取り組みとその効果額は？

答 さまざま実施すればそれなりに削減効果が期待できると考える。

一般質問

家庭系ごみの減量と有料化について 平成32年度に10%、平成34年度に20%の削減が達成できなるとごみ有料化の導入を検討

宮本 英彦 議員



問 豊明市家庭系ごみ減量化実施計画はごみの有料化の目的とは何か等、有料化に向けた文章が満載だ。この計画の策定の目的は何か。ごみ有料化の説得材料か。

答 ごみ処理の有料化はごみ減量化に対する1つの手段と考えており、そのこと自身がすぐにごみに対する手数料の有料化とは考えていない。

問 ごみ減量化目標の410gは県内トップの目標。簡単にはできない。ごみ減量を徹底した上でごみの有料化がある。有料化があつて減量化であつてはならないのでは？

答 有料化がありきではない。最後の手段で有料化があるかもしれないが、まずは皆さんの協力で少しでも減らすようにしたい。

問 可燃ごみの減量化に向けた具体的な施策は何か。

答 1つ目はリデュース、



リユース、リサイクルの3R。2つ目は資源分別の徹底。3つ目は食品ロスの削減。4つ目は生ごみの減量化。この4つの徹底をお願いしたい。食品ロス削減の中で、可燃ごみの中に全く手のつけない食品が2・6%入っている。生ごみは8割が水分。東部知多衛生組合へ持ち込むときは重量で計るため、水切りを徹底してもらえば達成できる目標と考える。

問 家庭系ごみの有料化は、全ての市民に負担を求めるものである。市民にどう周知するのか。

答 昨年10月27日にごみ減量に関する市民説明会を開いた。今までは待つていたが、新年度は資源ごみを含めた説明会を地域に出向いていって浸透させる。

一般質問

ごみ対策について

近藤 千鶴 議員



問 ごみ捨てに対するマナー向上を図る対策について。

答 地区が主体的に行う豊明クリーン月間を実施している。生活圏を活性化しているかを再認識し、マナー向上につながるかと考えている。

問 分別不徹底ごみの対策について。

答 分別不徹底ごみは、収集時に黄色い警告シールを貼り、自発的に回収してもらう。特に悪質なものは内容物も確認し、その原因者を特定している。転入者にはワンストップサービスとして、市民課窓口でごみに関する説明を行っている。細かいところは、環境課と連携しながら対応していく。外国人の方には、外国語版のパンフレットを用意して渡している。

問 ごみの持ち去り対策について。

答 今議会でも、豊明市廃棄物の処理及び清掃に關

一般質問

町内会応援制度の創設について、災害時の避難判断は 外国人の日本語教育の充実について

三浦 桂司 議員



問 豊川市では、加入率減少が続く町内会に対し、市内の事業所と提携して、町内会が開催するイベントなどで一品サービスや割引制度など受けられる「町内会応援事業所制度」を始めた。豊明市も検討してみてもどうか。

答 現在でも似たものとして消防団応援事業所設置要綱がある。検証と検討をしていく。

災害時の避難判断

問 政府は昨年、豪雨や台風が相次いだことにより、住民自身による自主避難が自治体の役割と定義して、避難勧告、避難指示の指針を改正する方針を打ち出した。避難所に駆けつける判断基準は、避難所でスマホを充電する蓄電池の設置と、DIG訓練(災害図上ゲーム)を行う予定は。

答 政府は今年の夏から切迫度をわかりやすくして早期避難につなげるた

め、災害情報と同時に5段階の警戒レベルを発信する。市の案としては警戒レベル3で高齢者から避難させる。蓄電池の備えはないので検討する。今後はDIG訓練とHUG訓練を隔年で開催していく予定。

外国人の日本語教育の充実

問 4月より出入国管理法が改正され、外国人が増えることが想定される。日本語が上手く話せないために地域とトラブルになるケースや学校生活に馴染めない児童生徒の対策は。また外国人を雇用する企業サイドに対して協力を求めているのか。

答 国際交流協会による日本語教室が、大人向けと子ども向けで開催。プラスエデュケートの委託を拡大する方向になる。企業と行政が連携して、生活習慣を支援する仕組みを考える必要がある。



一般質問

悲惨な乳幼児・児童虐待に関して

月岡 修一 議員



問 豊明市における虐待について、①児童虐待の事例公表を求める。②虐待の通報があった場合どの部署がどのように対応するのか。③虐待が発生した場合の民生児童委員の役割について。④虐待が発生した場合、単に児童相談所に通報して終わりとするのか。

答 ①本市においても虐待事件が発生しました。検証委員会で再発防止のために方策を検討しています。②子育て支援課が中心になって動き、情報を収集し事実確認をします。③民生委員さん等の協力をいただくこともあります。④情報の共有や連携をとっています。

問 児童相談所の対応について、①児童相談所と豊明市の担当課とはどのような対策会議が行われているのか。②数々の児童相談所の不手際に対して何も申すことはできないのか。

答 ①1月1回の定例会議や代表者会議に参加して情報を共有しています。②会議の中で県の方には情報伝達を行っており、様々なアドバイスもいただいています。

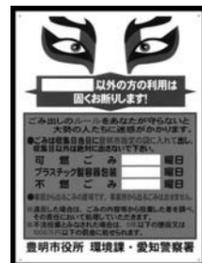
問 教育委員会の対応について、①子どもたちが学校で安心して学べる環境とは。②千葉県野田市の事件は他山の石であると言えるのか。③児童虐待根絶月間を制定してはどうか。④多士済々の市民の力をお借りしながら『よろず相談所』のような施設の運営が必要ではないか。

答 ①児童虐待の早期発見に努め、組織的に対応しています。②他山の石とは言えません。③ご提案を参考にします。④今後早期発見に全力を尽くします。本当に救ってほしい子どもたちを救える社会を豊明市で作ってきたい。

一般質問

ごみ出しマナーの向上について 子育てを支援する乳幼児施策について

鵜飼 貞雄 議員



問 豊明市指定のごみ袋に入れたごみが、市外から持ち込まれている実態を把握していますか。

答 指定のごみ袋で指定の置き場に出されたごみは、区別ができないため数は把握できていません。

問 不適切に排出されるごみに対し注意する看板を市で用意できませんか。

答 看板を作成したので、利用いただきたいと思います。

問 市役所内の授乳室について。利用しやすい場所に移動できませんか。

答 授乳室がどこにあるかわかりにくい現状を踏まえ、利便性の良い場所へ移転を検討しています。

問 WERAプ赤ちゃんプロジェクトについて。どのような取り組みが存じでしょうか。

答 公共の場等で泣いている赤ちゃんやママ・パパを応援する活動と把握しています。

問 このプロジェクトに関する本市の考えは。

答 活動内容を把握し、検討していきます。

問 市長のお考えをお聞かせください。

答 豊明市でも演奏中に赤ちゃんが泣いても大丈夫といった趣旨のコンサートが開かれています。社会全体で子どもを育てていく環境は必要と考え、このような取り組みを可能な限り導入していきたいと思えます。

一般質問

・公費負担を増やして国保税の引き下げを、 子ども医療費無料制度の拡大を ・幼保の無償化による給食費の負担は

郷右近 修 議員



問 豊明市の国保に20歳未満の被保険者数に対する特別調整交付金が55万3千円付いている。子ども医療費無料制度を18歳まで拡大できないか。

答 交付金は国保に加入する20歳未満の医療費負担に対する措置。子ども医療費無料制度の拡大になると、社会保険の子どもも対象になるから難しい。また、県への納付金から差し引かれる形で交付されているので、他の事業に充てることはできない。

問 国保加入者に限って18歳まで拡大することはできないか。

答 子どもへ分配した分は高齢者など、他の加入者へしわ寄せが行くので、今の方向性で行きたい。

問 全国知事会は国、県が1兆円の公費を国保に投入することを国に要請している。豊明市からも公費投入で均等割の減免を要請してはどうか。



問 国は公費投入を拡大しているが、構造的問題を抱える国保制度の持続には国の支援が必要。機会を見て要請できればと考えている。

答 国は公費投入を拡大しているが、構造的問題を抱える国保制度の持続には国の支援が必要。機会を見て要請できればと考えている。

問 無償化後は保育所の給食費は、保育料に含まれる形から定額の実費負担になる。負担が高くなる方が出るのでは。

答 いまは月に給食費が4〜5千円の場合、C、D1、D2-1階層は実質の負担が4千円台以下になっている。実費負担が高くならないよう国が低所得世帯の副食費の軽減措置を想定していると聞いている。

一般質問

寺池地区と柿ノ木地区の「治水計画と対策について」 「調整区域の道路、水路の整備について」質問する。

村山 金敏 議員



問 寺池地区と柿ノ木地区は、大きな保水能力を備えた農地であったが、両地域とも開発される。開発に対する治水の計画と、下流河川への影響と対策について。

答 今回の開発では、開発面積に対し通常の量を超える降雨があった場合を想定した雨水を貯留できる調整池を整備する。また、柿ノ木地区の調整池は2カ所整備する予定である。保水能力を備えた後と同等の貯水量を確保するので、河川への影響は変わらないと考えている。

問 両地区の現在の保水能力と開発後の能力を比較するかどうか。

答 基本的に、従前地にある農地と同等の保水能力があると考えている。

問 これからは都市型の治水になるが、下流域への影響は。

答 その地区で降った雨は、その地区の中で処理

をするのが大原則である。下流域に対しての負荷をかけないという考え方である。

問 豪雨時には市内のほとんどの水と上流市町からの水が境川に押し寄せると思うが、その配慮は考えの中に入っているか。

答 大規模な開発で一番先にやる必要があるのが調整池の築造。開発区域で造成や埋め立てがあるが、水を一時的にそこへ溜め、下流に負荷をかけない工事計画になる。

問 調整区域の道路水路等の疲弊が目につくが、地域からの要望はどうか。

答 今後の対処は、道路水路の補修や修繕で緊急の場合は早急に対処している。地域からの要望は緊急性、必要性、用地等の検討をし、予算の範囲内で対応しているが、全ての要望を実施できないのが現状である。今後要望に応えるよう予算の確保に努めたい。

広報広聴特別委員会の報告



協議会の様子

本委員会は、広報機能の強化や議会だよりのリニューアルを検討する場合の意思決定の場を求め、平成30年6月定例会月議会で設置が可決されました。

特別委員会に付託された事項は、①市議会、だよりの編集・発行、②議会報告会・広聴会などの企画・立案、③市民への情報公開、意見交換及び情報発信、広報広聴に関すること。

設置期間は、平成30年6月26日から平成31年4月29日です。

委員長以下9名で、設置期間に6回の委員会と



議会だより228号～230号

18回の協議会を開催しました。

取り組みとして、議会だより228号から231号までの編集作業を行い、より市民に親しんでいただけのような議会だよりの紙面を目指して、写真や図表、イラストの掲載を積極的に進めました。

議会報告会に向けての新しい活動として、若い人たちに市議会への関心を持っていただくこと、市内の高校に議会報告会への参加を呼びかけ、議会報告会2018（平成30年11月開催）に7名の



議会報告会2018

参加をいただきました。

また、手作りのポスターを市内小中学校や保育園などの公共施設、ひまわりバスの車内、市内大型スーパーマーケットに掲示するなどPRに努めました。

第2部「議会への意見」では高校生が積極的に発言し、他の参加者からも好評でした。

今後、若い人たちの意見交換会の実現につながるよう工夫していきます。

設置期間を終えるにあたり、各委員より出され

様々な課題についてもとりまとめ、平成31年3月定例会月議会最終日に中間報告を行いました。

主な意見

- 継続性の観点から委員の任期は1年ではなく2年任期の方がよいという意見と、各議員の多様な意見を反映するため1年任期とすべきという意見
- 若い人たちの意見交換会や地域に向向いの意見交換会の必要性
- 議会だよりの新たな取り組みへの挑戦や、モニター制度の検討
- 議会報告会の参加者を増やすために、日程・会場・内容の精査や市外の高校へ通う市内在住高校生への呼びかけの実施
- 議会だより編集担当と議会報告会担当を別々にすることや、広報広聴のあり方全体の見直し

※報告書は議会ホームページに掲載しています。

一般質問

前後駅周辺の活性化、利便性向上策の進捗は
枠を増やしても過去最高タイの待機児童数

富永 秀一 議員



問 これまで何度も様々な角度から取り上げてきた、前後駅周辺の活性化、利便性向上策についてですが、3年半前に前後駅周辺に国際的なホテルやオフィスビルを誘致する考えがないか聞きました。

答 第3次都市計画マスタープランで、拠点の形成に向け、民間活力を生かした駅周辺の土地の有効活用を目指すとしていますが、具体的な進展は、地権者の方々の意向が重要と考えている。

問 有料駐輪場がいつもいっぱいである問題は、

答 去年9月駐輪場利用者の実態を把握するためのアンケートを実施した。前後駅東側の駐輪可能台数の確保に努める必要があることがわかった。整備の方向性を検討する。

問 レンタル自転車が多くとんど利用されていない問題は、

答 積極的に対外的にPRする。

問 待機児童数が、去年10月時点で121人と前年と同じ過去最高で、まだ保育所は足りていない中、10月から幼保無償化が始まります。影響は、

答 無償化される3歳以上児はほとんど幼稚園や保育園に通っているのので影響はないと考える。

問 待機が出ている中数十人でも新たな希望者が出れば影響はあるのでは、

答 31年度は改修工事で枠が17名増え、32年度は東部保育園の代替園や認定こども園などで増える。

その他、下水熱利用、自衛官募集への対応、RPAの導入などについて質問をしました。



約100名が予約待ちの前後駅有料駐輪場

豊明市・日進市・東郷町議会議員合同研修会 平成31年1月21日

1月21日、豊明市・日進市・東郷町議会議員合同研修会が東郷町民会館にて開催されました。

関西学院大学経営戦略研究科教授の松藤保孝氏を講師に「住民の夢をかなえる議員活動」について、以下のようにご講演いただきました。

市町村の本来の業務とは、法令等で決まっている内容の事務をマニュアルどおりに行うことではなく、住民等の未来の幸福のために政策を企画し実施することである。

議員は、業績に責任を持つ企業であることから、細かなチェックを行うのではなく、政策の創造や、役所および部下である役所職員をできるだけ働かせ成果を出させることが役割である。そのために権限・権力を活用することができるとのこと。

政策立案のために現実を知る必要があるが、そ



のための予算は削ってはいけない。

目指すべき理想の未来を決める際、スローガンやビジョンは抽象的ではなく、具体的なものとすること。

すべての人を対象とした政策は存在しないことから、その目的や、誰のどのようなニーズを満足させ無視するのかを具体的に考える必要がある。

その他、盛りだくさんの内容でした。

多くのことを学んだ本研修会を、一同、今後の活動に活かしてまいります。

